ー にいがた青年海外協力隊を育てる会 会報紙 ー
The News Letter of The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA

なじらね.jp

なじらね 春 どっとじぇーぴー

平成 26（2014）年 3 月 31 日（月） 発行 - 第 11 号 -

【発行人】「にいがた青年海外協力隊を育てる会」 会長 平山 征夫 ／ 事務局長 横山 容司郎
The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA
【事務局】〒950-2012 新潟県新潟市西区小針台1-15 株式会社 アルファブライト 内
Tel. 025-234-1500 , Fax. 025-234-1002 , E-mail n-sodaterukai@alpha-bright.co.jp
URL http://n-sojocv-najirane.com
【題 字】藤田 美枝子 （※「なじらね」とは，新潟弁で「元気ですか？」の意味）
【編集人】広報文化専門委員会 山田 規央

The Supporting Organization of J.O.C.V. NIIGATA

- NAJIRANE Headlines -

【巻頭言】「なじらね. jp」第11号の発行に寄せて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
【壱】平成25年度（第5回）理事・役員会の開催報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
【弐】新潟グローバルセミナー開催報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
【参】新年会in福島 開催報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
【四】本県出身のJICAボランティア（JV & SV）が任国へ赴任！
（平成25年度2次隊，平成25年度3次隊） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
【五】本県出身JICAボランティアによる近況報告 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 － 6
【六】SOS：ドミニカ共和国初の療育施設に和製玩具を送りました ・・・・・・・・・・・・・・ 7
【七】SOS：「エクアドル野球チーム新潟遠征プロジェクト」へのご寄付のお願い ・・・・・・ 7
Information，壮行会&慰労会，広告，編集後記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

にいがた青年海外協力隊を育てる会 検索

公式ホームページ随時更新中！

【巻頭言】 「なじらね.jp」第11号の発行に寄せて
ー 青年海外協力隊とわたし ー

にいがた青年海外協力隊を育てる会 理事
羽吹 登（はぶき のぼる）

羽吹企業グループ 取締役
（公社）青年海外協力協会 理事，他

私は昭和46年度1次隊・土木測量としてモロッコに赴任し，その時から青年海外協力隊（JOCV）との関わりが始まりました．『国づくり，人づくり』を基本理念として掲げるJOCV．モロッコでの経験から人づくりは全ての基盤になるのだと実感致しました．人を育てることで国も豊かになり，国づくりが成り立つのだと．私の学び得た経験を次世代にと，出来る限りのあらゆる分野で，特に若者の育成に力を注いでまいりました．新潟県内の高校生を対象にしたアフリカ，ネパールなど発展途上国への体験視察，JOCV以外でも南魚沼市の誇る清流・魚野川を舞台に稚魚放流，植樹，ゴミ拾いなど小学生と交流しながら自然環境を守る取り組みをしてきました．こうした私の活動が子ども達の未来へ繋がり，豊かでグローバルな国づくりに役立つと信じています．

さて，ここからはちょっと自慢話．私には三人の娘がいますが，なんと次女が平成19年度4次隊・幼児教育としてニジェールに赴任しました！！忙しくて殆ど子育てに参加できなかった私ですが，子はしっかり父の背中を見て育ってくれたのだと，大変嬉しく思います．その子も今や二児の母となり，孫がいつか隊員としてどこかの国で活躍することを密かに願い，楽しみにしています．

私はこれからJOCVが人類全体の課題である地球温暖化に配慮した国づくりの先頭に立って世界をリードしてもらいたいと切に願っています．

『奉仕は人生の家賃なり』は私の座右の銘です．この言葉を信念に，50周年を迎えたJOCV事業と共に活動を続けてまいります．100周年を担う次世代の子ども達のために，一生懸命に走り続けます．会員の皆様もともにがんばりましょう！！

【壱】　平成25年度（第5回）理事・役員会の開催報告

去る，10月26日（土），16:40～17:20，新潟会館にて「にいがた青年海外協力隊を育てる会」第5回理事・役員会を開催致しました．新潟県における「JICAボランティア家族連絡会」を当会と新潟県青年海外協力協会が運営するようになってから今年で5回目となります．

今回の役員会は，エクアドルに派遣されている齋藤勇太隊員（平成24年3次隊／野球）が企画している「エクアドル野球チーム新潟遠征」について，育てる会としてどのように協力していくかについて議論して頂きました．金銭的な協力は難しいとしながらも，新潟における受け入れ機関としての役割や歓迎パーティー等のイベント開催等，出来る限りの協力をしていくことを確認して頂きました．既に会員の皆様には12月配布のクロスロード誌に同封して，齋藤隊員からの手紙を送らせて頂いています．今後も資金収集をはじめ，イベント開催への協力等のお願いを当会ホームページや機関紙「なじらね.jp」でご案内させて頂くことになると思いますが，ご理解とご協力をお願いします．

また，引き続き当会における**協賛広告**の募集につき，下記の通りお願いします．

・広告媒体：機関紙「なじらね.jp」とホームページ
・年会費用：10,000円（機関紙は年2回発行，ホームページはバナー広告）
・現在の広告数：9社

最後に，今回も理事・役員・留守家族やOVの方々に平成26年版カレンダーを約80部購入して頂きました．大変ありがとうございました．

※理事・役員会参加者：会長・副会長・顧問・理事・監事　10人　，運営委員　4人　（委任状　6人）

（ 文 ： 横山 容司郎 ）

【弐】　新潟グローバルセミナー開催報告

2月16日（日），新潟日報メディアシップにて，新潟グローバルセミナーを開催しました！今回は，「これから海外に行ってみたい！」という方を対象に，JICAをはじめ海外派遣プログラムを実施する団体が集まり，合同の活動報告・説明会を行いました．ブース毎の個別相談では，各団体のスタッフや協力隊OVが事業概要や応募方法などについて説明し，参加者は疑問や不安など積極的に質問していました．パネルトークでは，各団体のプログラム経験者から，海外体験を通じての自分の変化や参加者へのメッセージを語っていただきました．「国際協力・交流してみたい！」という方の背中を少しは押すことができたのではないかと思います．

最後は，参加者全員からこれからの『するぞ宣言』をしてもらい，全体でシェア．会場からは「毎日海外のニュースをチェックする」「次回の募集に応募したい」など前向きなコメントがたくさんありました．今回の縁を大事に，国際協力の”輪”を広げていきたいです．当日は，80名近くの方からご参加いただき，スタッフ含めて約100人の盛会となりました！ご参加いただいた皆さま，ありがとうございました．

（ 文・写真 ：
JICA新潟デスク　本田 龍輔 ）

【参】　新年会 in 福島 開催報告

震災復興支援を兼ねて，2月22日（土）～23日（日），会津若松にある東山グランドホテルにおいて，新年会を行ないました．県外で新年会を行うのは今回がお初．昨年11月に開催されたJOCAの関東ブロック会議の会場探しで，森田会長が会議費と宿泊代・懇親会費を合わせて1万2千円程度で受けてくれるところを当たっていたところ引き受けてくれたのが東山グランドホテルでした．そうこうしているうちに，新潟市内で会場が見つかり，ブロック会議は新潟開催となったわけですが，新年会については，震災の風評被害を受けて，観光客が激減している福島県の現状に少しでも力になれたらと，森田会長の熱い思いで今回実現しました．

当日は東京から青木盛久さん（元 協力隊を育てる会副会長）や，魚沼からは羽吹登さんも駆けつけて頂きました．雪景色を見ながら東山温泉の湯に浸かった後は，参加者11名で地元の料理やお酒を愉しみ，協力隊の熱き思い出話などに花が咲きました．1泊2食，シャトルバス往復付きで11,500円とお安いのですが，料金以上のおもてなしとサービスがあり，従業員皆さんの活気があり，福島頑張ってます！という印象を強く受けました．

新潟駅からシャトルバスが出ており，新津駅を経由していきます．宿泊費は週末ももちろん安いですが，平日はさらにお得!!　震災復興支援の思いを込めて，皆様，ぜひ！ちょっと福島へ足を伸ばしてください．

（ 文・写真 ： 本間　美夜子 ）

【四】　本県出身のJICAボランティア が任国へ赴任！（平成25年度2次隊，平成25年度3次隊）

本県出身の青年海外協力隊(JV)・シニア海外ボランティア(SV)の平成25年度2次隊(H25-2)新隊員5人(JV 5人＋SV 0人)が平成25年9月下旬に，平成25年度3次隊(H25-3)新隊員2人(JV 2人＋SV 0人)が平成25年1月上旬にそれぞれの任国へと出発しました．新隊員は訓練所での約70日間の派遣前訓練終了後に本県に帰郷し，それぞれ9月24日，12月24日に新潟県庁および新潟県国際交流協会に表敬訪問を行ない，両日共に当会からは横山事務局長が同伴致しました．これに併せ，直近に帰国していた本県出身隊員も同行し，帰国報告を行ないました．

また，毎回恒例の新隊員壮行会＆帰国隊員慰労会を表敬訪問日の夜に新潟県青年海外協力協会(JOCA新潟)と共催で実施しました．当会としては，任国で活躍する本県出身隊員の活動を地域ぐるみでサポートしていけるように取り組んでいきます．　表敬訪問に参加した各隊員を紹介します．

新隊員（H25-2）		任国	職種
JV	①伊藤 真由美 さん	東ティモール民主共和国	薬剤師
	②大嶋 義章 さん	エチオピア連邦民主共和国	理科教育
	③岡田 まりあ さん	フィジー共和国	小学校教師
	④佐藤 仁直 さん	ガーナ共和国	PCインストラクター
	⑤坪内 純希 さん	ペルー共和国	コミュニティ開発

①自分の力が少しでも任国の役に立てればよいと思っています．

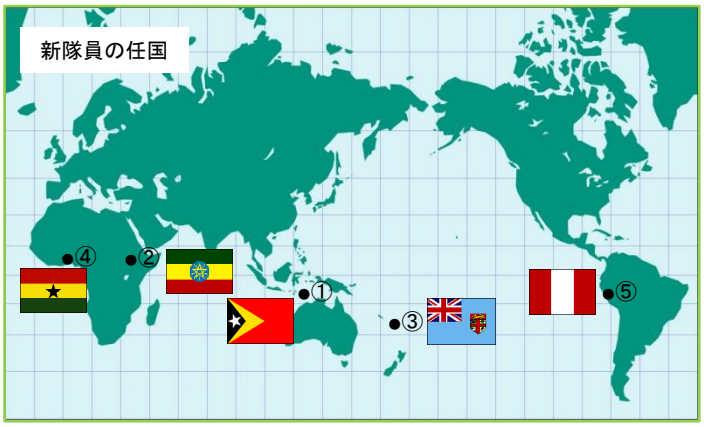
②「日本人っていいな」と思ってもらえるような活動をしたいです．

③算数の面白さを伝えられる様，自身も楽しんで活動していきたいです．

④考えるよりも，色々な事を一緒に学んでこようと思います．

⑤失敗を繰り返しても諦めず，自分のできることを精一杯頑張りたい．

帰国隊員（3月帰国）
JV：H24-1・高橋裕さん（キリバス共和国／PCインストラクター ※任期1年）

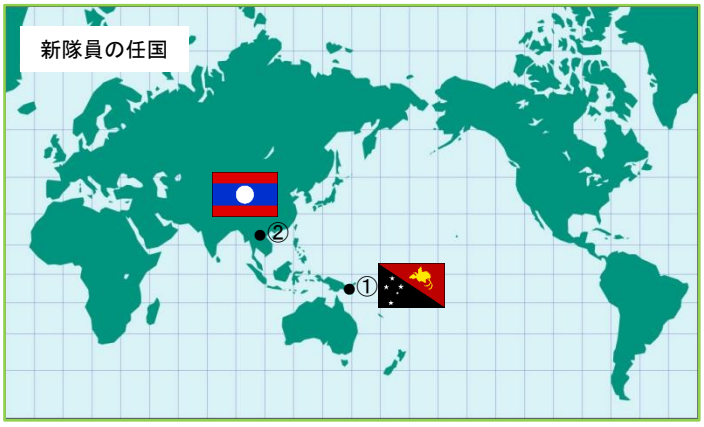


新隊員（H25-3）		任国	職種
JV	①竹内 洋 さん	パプアニューギニア独立国	コンピューター技術
	②細井 美沙子 さん	ラオス人民民主共和国	看護師

①任国の生活向上に貢献していきたい．

②技術や知識はもちろん，気遣いや思いやりの心も伝えたい．

帰国隊員（9月帰国）
JV：H23-2・山田優さん（ドミニカ共和国／環境教育）
SV：H23-2・石垣稔さん（フィジー共和国／水産物加工）



地図と国旗は「世界地図・世界の国旗」HPより引用 （ http://www.abysse.co.jp/world/index.html ）

（ 文 ： 山田 規央 ／ 写真 ： 横山 容司郎 ）

塩田 哲平　Mr. Teppei Shioda , JV
（平成25年度1次隊／東ティモール民主共和国／コンピュータ技師）

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところですか？
【国ができる過程を肌で感じられる国】

21世紀最初の独立国である東ティモールは国つくりの最中です．法律や公共サービス，インフラ等，日本では整備されていて当たり前のことが東ティモールではこれからということが多々あります．

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子ですか？
【勉強したくても機会が乏しい生活環境】

東ティモールの公用語はポルトガル語とテトゥン語です．東ティモール人の多くは日常会話の共通語としてテトゥン語を用いますが，1974年までのポルトガル植民地時代はポルトガル語で，それ以降2001年の独立までインドネシアの占領下時代はインドネシア語でそれぞれ教育を受けているため，世代により得意言語が異なります．今教員の多くがインドネシア時代に教育を受けた人たちなのに，公用語のポルトガル語の教科書で授業をしなければならず，教育現場は混乱しています．また，テトゥン語で書かれた参考書や教科書は自作する以外存在しません．子供に読み聞かせる絵本すら目にしない状況です．現地語の書籍も手に入らず，インターネットで知識を得るにも高価で制約があり，郵便システムもないため（そもそも住所がない）通信講座も成り立たたず，更にはコースに参加しても教科書を配布してくれる学校が少ないため，教員も生徒も学びたい意欲があっても壁が多くある生活を送っています．

Q3;あなたはどんな活動をしていますか？

公立工業高校のIT学科で活動しています．先生に対して技術指導や授業の開講，現地語のテキストの作成，今まで教えられる先生がおらず開講されていなかった授業を代理で実施するなどしています．
最近はコンピュータ同士をケーブルで繋いでネットワーク化し，複数のコンピュータ同士が連携できるようになりました．授業の効率，質が格段に上がりました．

Q4;これまでに嬉しかったこと，辛かったことは？

教員も生徒も学ぶ意欲に溢れており要望を多くもらうこと，またその要望に応え彼らが実践できるようになったのを見た時は心から嬉しく思います．
派遣されて3カ月後，デング熱に罹り寝込んで3週間活動ができませんでした．2年しか活動期間がない中で3週間も休んでしまった焦りが重なって，体力的にも精神的にも辛かったです．

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

シラバス作りや日本での経験をもとに新しい実習を提案するなどして，質の高い学習環境づくりをサポートしていきたいです．目標は私が離任した後も先生たち自身で質の高い授業を実践できるようになることです．また，生徒の進学率・就職率を上げるための工夫，アイデアを先生たちと一緒に検討していきたいとも考えています．

生徒たちと

校舎

Current Feelings in Democratic Republic of Timor-Leste

西野 重雄　Mr. Shigeo Nishino ，SV
（平成25年度1次隊／エルサルバドル共和国／食品衛生）

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところですか？

治安の悪さから生活行動に制限があり若干窮屈な感じです．任地のイロバスコは比較的安全なところでミニ素焼き人形で有名なところです．配属先の大学キャンパスは，ゴミ一つ落ちてなく樹木，花が咲き誇っており快適です．

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子ですか？

イロバスコ市はカバニャス県の小都市で，市場が毎日開催され商業活動の盛んなところです．地方から多くの方が買出しに来て，街中は雑然とした感じです．

Q3;あなたはどんな活動をしていますか？

大学では食品衛生にかかる調査研究を中心に教員，学生とともに，主に微生物検査室にて乳肉製品の細菌検査を行っています．月に3～6回ほど，日本の食肉検査，牛乳の衛生管理，野外における家畜の衛生管理等の特別講義を行っています．

Q4;これまでに嬉しかったこと，辛かったことは？

嬉しかったことは，教員や学生が私のところ来て諸々と質問に来てくれ，こんな私でも何か役に立っているかなと自身が感じるとき．

辛かったことは，夜間の行動制限から居酒屋で現地の方々と交流が出来ないこと．

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

食品衛生と食品加工にかかる講演会を配属先の大学，農牧省農業試験場，JICA事務所等の後援で5月頃開催したいと考え計画を進めているところです．

大学での特別講義

大学キャンパス

C/Pの結婚式に妻と共に出席

Republic of El Salvador

【さまざまな生活文化ルポ】第7弾

任国の“音楽”

現地リポーター：冨井 愛，JV
平成25年度1次隊
モンゴル国
音楽

♪愛されるモリンホール♪　子どもたちに「楽器といえば？」と質問し，一番に返ってくる答え．それは“モリンホール（馬頭琴）”．そのクラブには，入部希望者が殺到．子どもの後ろで「私も習いたい．」と，ささやく先生たち．上頭部に馬の頭の飾りが施された，モンゴルを代表する民族楽器．馬の尻尾で作られた弓と二本の弦によって奏でられる音色は，時に柔らかく，時に馬の駆け音やいななきのように聴こえ，心を掴まれます．(写真①)

♪クラス対抗，芸術発表会♪　配属先の学校で行われた芸術発表会．日本の学校のそれとは，似て非なるもの．クラス全員が民族衣装で踊るモンゴル舞踊や詩の朗読，合唱にはほのぼの．マイクを手にキラキラのドレスで歌うソロ歌唱と，セクシーな衣装で華麗なステップを踏む社交ダンスには驚きの一言．更に驚いたのは，その先生版もあったこと．(写真②)

♪楽譜がなくたって♪　モンゴルの音楽の教科書は文字だらけ．理論や歴史の座学中心で，歌の楽譜はごく僅かだけれど，学校で教えなくても子どもたちが一緒に歌える歌がたくさんあります．小さい頃から兄姉が歌って聴かせてくれるそうです．教科書は何年も使い回され，生徒にプリントが配られることなどありません．聞いて書き取ること・覚えることに慣れていて，歌詞やメロディーもすぐに覚えてしまいます．その柔らかさを前に，楽譜で育って来た自分の固さを痛感しています．見習いたいことの一つです．

♪母の歌♪　家族を大切にするモンゴルの人たち．家族や草原の故郷を想う歌が多く，中でも『私のお母さん』『素晴らしいお母さん』『お母さんはラクダ飼い』など，母について歌った歌はダントツです．中高生の男の子や成人男性が熱唱する姿には，少しむずがゆくなりますが，そう言う私の愛唱歌も『お母さんといれば幸せ』です．

歌と踊り．この二つは，モンゴルの人々の生活に欠かせません．テレビで流れる音楽は，モンゴルの民謡オルディンドー（長い歌）からモンゴルPOP，HIP HOPまで多種多様．お酒の席ではもちろん，人が集まれば，その場がディスコと化します．踊って疲れを吹っ飛ばし，輪になって肩を組んで歌います．モンゴルの人たちには，一緒に歌える歌がたくさんあり，彼らは歌や踊りで他者と繋がることを知っています．その豊かさにエネルギーをもらっている毎日です．

①

②

③

Mongolia

大平 朋代　Ms. Tomoyo Ohira , JV (OV)
（平成23年度1次隊／セネガル共和国／感染症対策）

Current Feelings

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところでしたか？

1年半くらいは『戦いの場』でした．人，考え，自分自身，いろいろなものと日々バトルしていました．今では『理想の生活ができる場所』だと思っています．

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子でしたか？

任地は首都近郊だったので，基本的なニーズはだいたい満たされていましたが，お金の問題は常にあるようでした．しかし，自分たちの力で何でもでき，生活にはいつもはちきれんばかりの笑顔があって，人間力が感じられました．

Q3;あなたはどんな活動をしていましたか？

保健局に所属しながら，学校などでマラリア，エイズ，その他感染症対策を行いました．その他，図工教室や保育園立ち上げ支援などニーズがあるものには住民のサポーターとして関わっていました．

Q4;任期中，嬉しかったこと，辛かったことは？

嬉しかったことはゴミのポイ捨てが当たり前な中，子どもたちに掃除の意欲が出てきたこと，辛かったことは心が狭く，なかなか人を心から信用することができなかったことです．

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

いろいろなアフリカの国の生活を見に行きたいです．新潟の地域の団結力を高めることに，自分の経験を活かせたらいいなと思っています．

子どもたちと一緒に

石垣 稔　Mr. Minoru Ishigaki , SV (OV)
（平成23年度2隊／フィジー共和国／水産物加工）

Current Feelings

Q1;任国や任地はあなたにとってどんなところでしたか？

フィジーは太平洋の十字路で，配属先の大学は12ヵ国の国/地域で設立されています．島国は行動範囲が制限されるので避けていましたが，学生，スタッフが世界中から来ているので刺激的な場所です．そして，この国には色々と縁を感じます．

Q2;現地の人々の生活状況はどんな様子でしたか？

フィジー系とインド系の対立があり軍事政権です．フィジーは2012年に沖縄で行われた第6回太平洋・島サミット(PALM6)に招待されませんでした．今でも援助は十分と感じますが，今年9月に総選挙があると思うので，民主化をすれば各国から更なる援助が期待されるでしょう．

Q3;あなたはどんな活動をしていましたか？

南太平洋大学(USP)の海洋学部と生物・化学学部で大洋州から来ている学生，水産担当官，保健担当官，企業や漁民に対して，食品安全の授業，実験やワークショップをしていました．

Q4;任期中，嬉しかったこと，辛かったことは？

大学の教え子から「家族は？」と聞かれ，「いないよ」と答えたら「このクラスが家族だね」と言われたことが嬉しかったです．辛いことは国内積立金が55,000円に下がったこと．

Q5;今後の予定や抱負を教えてください．

平成26年度1次隊で私の後任として，また南太平洋大学の海洋学部に再赴任します．三重大学との離島開発プロジェクトにもかかわると思うので，活動が楽しみです．

ワークショップ

食品安全の授業

ルー大柴さんによるインタビュー

Republic of Fiji

【六】 SOS：ドミニカ共和国初の療育施設に和製玩具を送りました！

前号でもご紹介しました様に，長岡市出身の青年海外協力隊・林亜佑美隊員（平成24年度4次隊／作業療法士）の要請に基づき，ドミニカ共和国で初となる（主に知的障害者のための）療育施設で活用して頂くための和製玩具（中古）の募集を行ないました．おかげさまで，8月1日～10月末までの2ヵ月間で，多数の品々が寄せられました．

【提供者数】個人 4件， 団体 3件
【提供品数】①おはじき 2品 ②積み木 10品
③仕掛け玩具 6品 ④その他 30品 （計48品）

これらの中から，玩具の状態，現地での要望や輸送事情等を考慮の上で一部を除外させて頂いた以外は，大多数を採用させて頂きました．当初，独立行政法人国際協力機構（JICA）を通じて現地に届けて頂く予定でしたが，諸事情により断念致しました．そこで、林さんと連絡の上で，1月上旬に当会で発送手続きを行ない，集まった玩具たちが新潟からドミニカ共和国へと船出を致しました．現地到着は未定ですが，4～5月の見込みです．現地に届きましたらHPにてご報告致します．

改めまして，ご寄付頂いた皆さま，募集にご協力頂いた皆さまに心より御礼申し上げます．

（ 文・写真 ： 山田 規央 ）

【七】 SOS：「エクアドル野球チーム新潟遠征プロジェクト」へのご寄付のお願い

新潟市出身の青年海外協力隊・齋藤勇太さん（平成24年度3次隊／野球）は昨年の1月からエクアドル共和国グアヤキル市で青少年への野球指導にあたっています．活動を通じて，齋藤さんは選手たちに野球技術のみならずチームワークやフェアプレイの精神なども学んでもらいたいと思い，日本遠征を行なうことを考えました．彼の熱い想いに賛同した故郷新潟の友人達は「エクアドルチームを新潟に誘致する会」を結成し，本年8月20日～9月1日の予定で主に新潟市を拠点に交流試合等の交流事業を実施すべく活動中です．

当会としても齋藤さんからの協力要請を受け，このプロジェクトの成功に向けて「誘致する会」と共に全面的に協力しています．現在は，選手らの渡航や滞在などに300万円の経費が見込まれているため，主に寄付金の募金支援を行なっています．これに関して，多くの皆様のお力添えを賜りたく，お願いを申し上げる次第です．

つきましては，誠に恐縮ですが，本プロジェクトの趣旨にご協賛頂ける皆さまにおかれましては，下記要領にてご寄付を受け付けておりますので，ご協力のほどお願い致します．尚，同プロジェクト名のホームページで，集まった合計金額を随時更新しておりますので，併せてご覧下さいませ．

エクアドル野球チーム新潟遠征プロジェクト　検索

（ http://ecuador-yakyu.digi2.jp/ ）

（後列右端が齋藤さん）

【寄付金のご入金方法】

□ご協賛頂ける個人（当会会員・非会員 不問） 一口 2,000円
□ご入金先： ゆうちょ銀行
・ゆうちょ銀行口座から振込の場合
記号11210， 番号 5190291， 名義 エクアドルチームヲニイガタヘユウチスルカイ
・他の金融機関から振込の場合
店名 一二八， 店番号 128， 預金種目 普通口座 ，口座番号 0519029 （振込手数料のご負担お願いします）
※ご入金後，同会迄ご連絡（氏名，住所，電話番号）をお願いします．→ ecuador.yakyu@gmail.com

（ 文 ： 山田 規央 ／ 写真 ： 齋藤 勇太 ）

県北からも，青年海外協力隊を応援しています！
ケーブル・ハーネス加工，電装品・制御盤の組立
株式会社 興栄電機
KOUEI Electric Co.,ltd.
〒959-3121
新潟県村上市佐々木577
Tel. 0254-62-5653, Fax. 0254-62-5650
URL http://www.koueielectric.jp

電気が使える『あたりまえ』私たちが支えます．
電気工事，土木工事，とび土工，機械器具設置，消防設備工事
胎内電建工業株式会社
〒959-2657
新潟県胎内市江上966
Tel. 0254-43-5345, Fax. 0254-43-5389
URL http://tainaidenken.com

私達は協力隊応援団です！
果物のことは大野青果に！
新潟市中央卸売市場
大野青果 株式会社
代表取締役 大野 修
〒950-0114
新潟県新潟市江南区茗荷谷711
Tel. 025-257-6220, Fax. 025-257-6219

- INFORMATION -

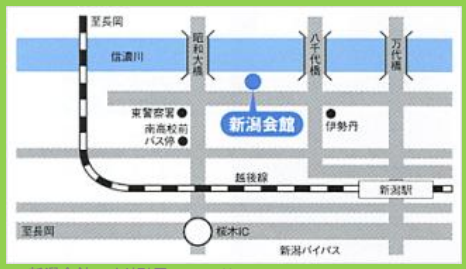
1. 平成26年度JICAボランティア春募集のご案内

平成26年4月1日(火)～5月12日(月)の期間，青年海外協力隊(20-39歳)・シニア海外ボランティア(40-69歳)の志願者の募集が行なわれます．応募に関する詳細は，下記へご連絡またはJICA公式HPでご確認下さい．→ http://www.jica.go.jp

【お問い合わせ】 JICA新潟デスク・本田さん Tel. 025-290-5650 ／ Fax. 025-249-8122

2. 平成26年度(第6回)総会のご案内

日時：平成26年5月31日(土)，15:00～(予定)
会場：新潟会館(新潟市中央区幸西3-3-1 Tel.025-247-9307) →
内容：昨年度の活動報告と今年度の活動方針，講演会，帰国隊員報告会，懇親会(お一人4千円) ※お誘い合わせ可．
【お問い合わせ】 当会事務局まで(会員には後日ご案内を郵送)



新潟会館HPより引用 (http://www.niigata-kaikan.com)

3. エクアドル野球チーム新潟遠征プロジェクトのご案内

エクアドルの野球少年たちが，新潟に遠征に来て交流試合を行ないます．
遠征期間：平成26年8月20日～9月2日(予定)
新潟県各地にて交流試合や練習会，交流イベントなどを計画中．スケジュールが決まり次第アップ致します(本紙7頁)．

新潟県から派遣される新隊員の壮行会および新潟に帰国した隊員の慰労会は年4回(3月，6月，9月，12月)開催．案内はMLで配信！

慰労会★壮行会

(写真：横山 容司郎)

協賛募集広告

私達は新潟から青年海外協力隊を応援しています！
金属加工のことならABCにお任せ下さい

相場産業株式会社
〒955-0814
新潟県三条市金子新田1691-5
Tel. 0256-35-7460, Fax. 0256-35-7462
URL http://www.abc-tool.co.jp

壊れた自転車は，電話一本でOK！
出張修理専門
(新潟駅南地区限定)
動く自転車屋
森田 敏明

〒950-0941
新潟県新潟市中央区女池7-10-3
Mobile 090-9009-4709
URL http://ugoku-jitensyaya.com

感動と夢，そして感謝
21世紀の生涯学習を推進する
株式会社アルファブライト
〒950-2012
新潟県新潟市西区小針台1-15
Tel. 025-234-1000, Fax. 025-234-1002
URL http://alpha-bright.co.jp

青年海外協力隊サポーター
業務用食器・厨房用品・贈答用品
株式会社マルコー
〒954-0046
新潟県見附市双葉町2-4
Tel. 0258-62-1265, Fax. 0258-62-7078

世界にはばたこう，日本の心！
そやま接骨院
院長 楚山 恭男
〒940-1165
新潟県長岡市水梨町1106-15
Tel. & Fax. 0258-22-3654

静かな森と美しい庭園
新潟五頭温泉郷 村杉温泉 **環翠楼**
〒959-1928
新潟県阿賀野市村杉温泉
Tel. 0250-66-2131
Fax. 0250-66-2553
URL http://kansuirou.jp

協賛広告
募集中

新潟と言えば，山！川！田んぼ！新潟弁！米百俵！レルヒさん！？などなど有形・無形の財産がありますね．しかし，「にいがた」を反対から読んでみると，「たがいに」ですね．(たまたまそういう読み方になりますが)新潟の一番の財産は“互いを思いやる地域性”だと思います．新潟人には世話好きの人が多い様に感じます．人と人のつながりを大切にする我らの風土を，国際貢献，地域貢献に活かして欲しいと思います．

(พริกไทย)